



TOHO IR Report

各事業においてコロナ禍からの回復傾向を加速させ、 高水準の連結決算を達成

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第134期（2022年3月1日から2023年2月28日まで）の業績等につきまして、
ここにご報告申し上げます。

代表取締役社長
松岡宏泰



当社グループを取り巻く経営環境は、ウクライナにおける戦争の長期化や急激な物価上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。一方で新型コロナウイルスの感染拡大が収束に向かう中、消費者心理の改善傾向に力強さが見られるようになり、先行きに明るさが見られるようになっていきます。このような環境下において当社グループは、より多くのお客様に映画、アニメ、演劇の良質なエンタテインメントをお届けすべく努めてまいりました。

映画事業においては、全世界の観客動員数が4,000万人を突破し、日本のみならず世界で大ヒットを記録している『すずめの戸締まり』をはじめ、『名探偵コナン ハロウィンの花嫁』『キングダム2 遥かなる大地へ』、東和ピクチャーズ配給『トップガン マーヴェリック』が大ヒットとなった他、東宝東和配給『ジュラシック・ワールド/新たな支配者』等の洋画作品もヒットしました。加えて、他社配給作品である『ONE PIECE FILM RED』『THE FIRST SLAM DUNK』等の大ヒットも当社の映画興行事業に大きく貢献することとなりました。映像事業においては、「SPY×FAMILY」「呪術廻戦」「僕のヒーローアカデミア」といったTOHO animationの各人気アニメシリーズ作品が、パッケージ販売や商品化ライセンス、また国内外での配信等、

多面的に展開され好調な収益を上げました。

演劇事業においては、『Endless SHOCK -Eternal-』『ミス・サイゴン』『エリザベト』といった従来の人気ミュージカル作品に加え、東宝創立90周年記念作品『千と千尋の神隠し』、大ヒット実写映画の舞台化作品『キングダム』等、新たな取り組みにもチャレンジしました。新型コロナウイルスによる公演中止等の影響が残る中で、演劇というライブ・エンタテインメントならではの感動を、多くのお客様にお届けできたと考えております。

不動産事業でも、改修工事等のコスト増はあったものの、所有する不動産物件が順調に稼働して底堅い業績を収めるとともに、再開発中であった「東宝日比谷プロムナードビル」も本年2月に無事竣工いたしました。

これらの結果、当社グループの第134期連結決算は、営業収入2,442億9千5百万円（前年度比7.0%増）、営業利益448億8千万円（同12.3%増）、経常利益478億1千5百万円（同11.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益334億3千万円（同13.1%増）と増収増益を達成いたしました。

第135期については、映画では、スタジオジブリが制作する宮崎駿監督の10年ぶりの新作『君たちはどう生きるか』や、山崎貴監督による『ゴジラ最新作（仮）』、帝国劇場での初舞台化でも人気を博したアニメ「SPY×

FAMILY」の映画版となる『劇場版 SPY×FAMILY CODE: White』、演劇では、名作ミュージカル映画の舞台版となる『ムーラン・ルージュ! ザ・ミュージカル』等、多くの話題作を提供しながら、各事業において着実な業績向上に努めてまいります。通期の連結業績見通しは、営業収入2,530億円、営業利益400億円、経常利益430億円、親会社株主に帰属する当期純利益280億円を見込んでおります。

当社グループは、2022年4月に「TOHO VISION 2032 東宝グループ 経営戦略」を発表し、長期的な視点に立って「成長投資」に積極的に取り組んでいく方針を示しました。この1年の中でも、アニメ事業をより強力に推進するため「アニメ本部」を設置する等、エンタテインメント事業における戦略に沿った組織変更を行い、また、事業部門の強化をデジタル面から後押しするための新組織「TOHO Digital Lab.」を起ち上げました。また、不動産事業においても、竣工から50年以上を経過している「帝劇ビル」の再開発を発表する等、更なる成長を遂げるための基盤づくりを進めております。

今後も、当社グループは、中長期的な成長と企業価値向上に向けて積極的に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

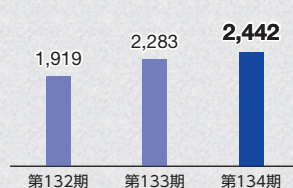
Financial Highlights 連結財務ハイライト

より詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧ください。

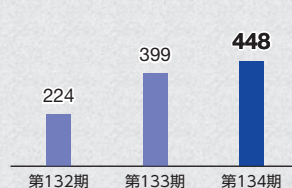
アドレスはこちら>><https://www.toho.co.jp/company/ir/>



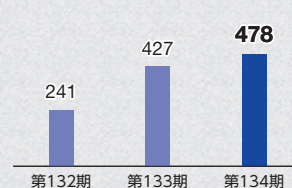
▶▶営業収入 (億円)



▶▶営業利益 (億円)



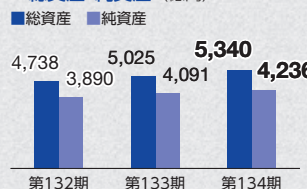
▶▶経常利益 (億円)



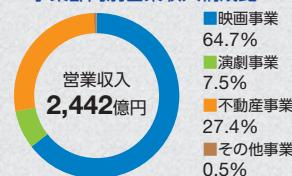
▶▶親会社株主に帰属する
当期純利益 (億円)



▶▶総資産/純資産 (億円)



▶▶事業部門別営業収入構成比



Coming Soon 公開予定作品および公演予定作品

当社グループは、下記の作品を始めとする幅広いラインナップを通して皆様に笑顔をお届けできるよう、努めてまいります。

● 映画事業



『怪物』
6月2日公開
©2023「怪物」製作委員会



『君たちはどう生きるか』
7月14日公開
©2023 Studio Ghibli



『MISSION: IMPOSSIBLE / デッドレコニング PART ONE』
7月21日公開
©2023 PARAMOUNT PICTURES. ALL RIGHTS RESERVED.

● アニメ事業



TVアニメ
『呪術廻戦』第2期
7月6日より毎週木曜夜11:56
MBS・TBS系全国28局で放送
©芥見下々／集英社・呪術廻戦製作委員会



TVアニメ
『葬送のフリーレン』
2023年秋
日本テレビ系列で全国放送開始
©山田鐘人・アベツカサ／小学館／
『葬送のフリーレン』製作委員会



『ムーラン・ルージュ! ザ・ミュージカル』
6月24日～8月31日
帝国劇場公演

当期提供予定映画作品 (映像事業部配給作品を除く)

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・映画ドラえもん のび太と空の理想郷 ・わたしの幸せな結婚 ・映画刀剣乱舞-黎明- ・生きる LIVING ・名探偵コナン 黒鉄の魚影 ・劇場版「TOKYO MER ～走る緊急救命室～」 ・最後まで行く ・怪物 ・劇場版「緊急取調室 THE FINAL」 ・君たちはどう生きるか ・キングダム 運命の炎 | <ul style="list-style-type: none"> ・しん次元! クレヨンしんちゃん THE MOVIE 超能力大決戦～とべとべ手巻き寿司～ ・SAND LAND ・ミステリと言う勿れ ・沈黙の艦隊 ・アナログ ・ゆとりですがなにか インターナショナル ・きみの色 ・ゴジラ最新作 (仮) ・首 ・窓ぎわのトットちゃん ・屋根裏のラジャー ・劇場版 SPY×FAMILY CODE: White |
|---|--|

当期提供予定演劇作品

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカル『SPY×FAMILY』 ・Endless SHOCK (Endless SHOCK/ Endless SHOCK Eternal) ・ムーラン・ルージュ! ザ・ミュージカル ・チャーリーとチョコレート工場 ・LUPIN ～カリオストロ伯爵夫人の秘密～ | <ul style="list-style-type: none"> ・RENT ・おかしい二人 ・She Loves Me ・ダーウィン・ヤング 悪の起源 ・SHOW BOY ・家族モドキ ・SHINE SHOW! ・M.クワンツェ&S.ルーヴァイの世界 ～3rd Season～ ・のだめカンタービレ |
|---|---|

Topics トピックス

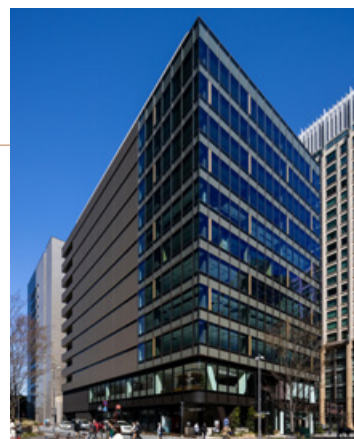
「東宝日比谷プロムナードビル」がついに開業!

日比谷の玄関口として長年愛されてきた「東宝ツインタワービル」の跡地に、「東宝日比谷プロムナードビル」が3月16日に開業しました。

3階から11階のオフィスフロアは、皇居外苑や日比谷公園を望む開放的で緑豊かな眺望を確保し、多様な働き方の実現に向けたスペックを導入しています。東京メトロ日比谷駅と直結する地下2階から地上2階の商業ゾーンは、魅力的な飲食店、物販・サービス店、全11店舗をラインナップしました。

ビル名の「プロムナード」には、フランス語で“散策”や“散歩道”という意味があり、日比谷を訪れる方々が当ビルを起点に散策していただき、新たな出会いや発見に触れ、豊かで上質な時間を過ごしていただきたいという想いが込められています。皆様のご来場をお待ちしております。

東宝日比谷プロムナードビル外観



≫株式の状況 (2023年2月28日現在)

発行可能株式総数 400,000,000株
発行済株式の総数 186,490,633株
(自己株式11,591,879株を含む)
株主数 31,208名
(前期末比3,828名増)

≫株式事務のご案内

株主名簿管理人 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所
(郵便物送付先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 0120-232-711 (通話料無料)

*証券会社で株を保有されている株主様は、ご利用の証券会社にお問い合わせください。

東宝株式会社

〒100-8415 東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
総務部 電話(03)3591-1214
<https://www.toho.co.jp/>



見やすい
ユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。